

1. 件名：「国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 高速実験炉原子炉施設（「常陽」）の設置変更許可申請のうち地震等に係る事業者ヒアリング（12）」

2. 日時：令和4年6月6日（木）16時00分～16時30分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

#### 4. 出席者

原子力規制庁 原子力規制部 地震・津波審査部門

岩田安全管理調査官、江崎企画調査官、三井上席安全審査官、中村主任安全審査官、佐藤主任安全審査官、永井主任安全審査官、大井安全審査専門職、松末技術参与

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 建設部 次長 他6名※

同 大洗研究所 高速実験炉部 次長 他5名※

同 安全・核セキュリティ総括本部 1名※

※：テレビ会議システムによる出席

#### 5. 要旨

(1) 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「JAEA」という。）から、平成29年3月30日に申請があった大洗研究所（南地区）高速実験炉原子炉施設（「常陽」）に関する原子炉設置変更許可申請（平成30年10月26日及び令和3年12月2日に一部補正）のうち、第443回核燃料施設等の新規制基準適合性に係る審査会合（本年5月30日開催。以下、「前回会合」という。）における質疑応答を踏まえ、解析用物性値及び解析用地下水水位の設定方針について、提出資料に基づき、説明があった。

(2) 原子力規制庁は、本日説明があった方針については、JAEAに対して、審査会合においてコメント回答として改めて説明をすることを求めた。また、今後の説明資料作成において、以下の事項について留意するように求めた。

- ① 「コメント一覧」における記載については、審査会合での原子力規制庁からの発言を確認し、正確に記述すること

- ② 解析用物性値の設定に用いる資料を取得したボーリング位置については、ボーリング番号も記載する等、既往説明資料との比較が容易にできるようにすること

(3) 上記に対して、JAEA から今後対応する旨の回答があった。

(4) さらに、原子力規制庁から、JAEA に対して、地盤改良に関する試験施工の対応状況及び予定工程、並びに、敷地周辺の地質・地質構造、津波評価及び火山影響評価に係る資料の準備状況について、確認したところ、JAEA から、試験施工に係るスケジュールの詳細説明及び説明予定時期が 7 月末である旨、並びに、敷地周辺の地質・地質構造等の資料については、既に準備を進めている旨の回答があった。

## 6. 提出資料

- ・大洗研究所（南地区）高速実験炉原子炉施設（「常陽」）審査会合コメントリスト
- ・大洗研究所（南地区）高速実験炉原子炉施設（「常陽」）耐震重要施設の基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価について（解析用地盤物性値及び地下水位の設定に関するコメント回答）